

2023.2.1発行

伊豆市 議会だより

【No.75】

かがやく 笑顔 みんなの宝



土肥こども園のみなさん

本号の
ポイント!

新体制決定 P2

新体制決定!



11月臨時会

会期：令和4年11月1日(火)

常任委員会

<本会議で決める議案などを、専門的に調査・審査する機関として設置>

総務経済委員会



委員長：波多野 靖明
副委員長：浅田 藤二

委員

上段

小長谷順二 下山祥二 星谷和馬 杉山武司

下段

杉山誠 波多野靖明 浅田 藤二 黒須淳美

教育厚生委員会

委員長：三田 忠男
副委員長：小川 多美子

委員

上段

飯田大 青木靖 鈴木優治 鈴木正人

下段

間野みどり 三田忠男 小川多美子 永岡康司



議会広報委員会



委員長：飯田 大
副委員長：鈴木 正人

委員

上段

鈴木正人 小長谷順二 下山祥二

下段

黒須淳美 飯田大 間野みどり

※議会改革特別推進委員会の構成は変更ありません



第11代議長 青木 靖
第11代副議長 下山 祥二

正副議長の辞職に伴い、選挙が行われました。議長には青木靖議員、副議長には下山祥二議員が就任しました。

日程

- ・常任委員会委員の選任
 - ・議会運営委員会委員の選任
 - ・一部事務組合議会議員の選挙
- ※執行部からの議案はありませんでした

議長からご挨拶

あけましておめでとうございます。
本年もよろしくお願いいたします。



令和5年1月、佐野区で伊豆市と伊豆の国市の新ごみ処理施設「クリーンセンターいず」が本格稼働となりました。下白岩では、中伊豆温泉病院の移設新築工事が着々と進んでおり、令和5年冬の開業見込みです。更に日向区では、伊豆市の新中学校の建設工事が進んでいて、令和7年4月の開校に向け様々な準備が行われています。

新しい伊豆市というまちの姿が形作られてきた感があります。しかしながら同時に、合併した市町への優遇措置については、終了しつつあります。

現在、市内では大型事業が目白押しのように見えますが、それらは最低限必要な施設であり、財源に合併特例債や国の補助金などを活用することで、財政の健全性を保ちながら、将来負担を低く抑えるように考えられていることを、議会として確認しています。

今後、旧4町時代からの公共施設を実際に整理していかなければならない時期が続きます。全ての施設を維持し続けることが不可能だからです。

これからは、人口減少に対応しながら、私たちの暮らしを守っていく取り組みを進めなければなりません。議会の役割は、行政のチェックと政策提案です。伊豆市が持つ課題を解消すべく、伊豆市議会の政策提案力を高めていく必要があると考えています。

議会運営委員会



委員長：杉山 誠
副委員長：鈴木 正人

委員

上段

青木靖 三田忠男 下山祥二 鈴木優治

下段

黒須淳美 杉山誠 鈴木正人 波多野靖明

※議長はオブザーバーとして参加



令和4年12月定例会で、議会は可決・同意をしました。



※詳細はホームページをご覧ください

■全会一致で可決した議案等

	件名
報告	専決処分の報告について ・市有財産の管理事故に伴う和解及び損害賠償の額の決定 3件 ・工事請負契約の変更 2件 ・静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約
予算	令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）
	令和4年度伊豆市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）
	令和4年度伊豆市水道事業会計補正予算（第1回）
	令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第6回）
条例	伊豆市特別職の職員の給与に関する条例等の一部改正について
	伊豆市個人情報保護条例の全部改正について
	伊豆市情報公開・個人情報保護審査会条例の一部改正について
	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
	伊豆市消防団条例及び伊豆市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
	伊豆市手数料徴収条例の一部改正について
	廃棄物処理施設の供用開始に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正について
	伊豆市手数料徴収条例の一部改正について
その他	工事請負契約の締結について（（仮称）伊豆市リサイクルセンター）
	公の施設の指定管理者の指定について ・天城ふるさと広場 ・修善寺温泉駐車場
	市道路線の廃止について
	伊豆市監査委員の選任について
	伊豆市農業委員会委員の任命について
発議	伊豆市議会個人情報保護条例の制定について 空家等対策推進のための財政支援強化を求める意見書

■賛否が分かれた議案等

件名	小川多美子	浅田藤二	鈴木優治	飯田大	黒須淳美	下山祥二	杉山武司	星谷和馬	鈴木正人	間野みどり	波多野靖明	小長谷順二	三田忠男	永岡康司	杉山誠	議決結果
伊豆市監査委員の選任について ※2	×	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	-	○	×	○	可決
〔発議〕議案第77号 令和4年度伊豆市一般会計補正予算（第5回）に対する附帯決議案	○	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	×	否決

- ※1 ○賛成 ×反対
- ※2 議長（青木 靖）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。
- ※3 候補者（小長谷 順二）は、自己に関する事件のため、退席しました。

〔発議〕
附帯決議案が提出されました。審議の結果、起立者少数により否決となりました。
※賛成討論1件、反対討論2件あり

令和4年伊豆市議会12月定例会

会 期：令和4年11月29日（火）～12月20日（火）
会 場：伊豆市役所本庁2階 議場・委員会室

会期日程及び議会活動

月	火	水	木	金	土	日
	11/29 本会議初日 全員協議会 議会改革※	30	12/1 本会議2日目 （一般質問） 全員協議会 議会改革※	2 本会議3日目 （一般質問）	3	4
5 本会議4日目 （一般質問）	6	7 本会議5日目 （議案質疑） 議会運営委員会 広報委員会	8 総務経済委員会	9 教育厚生委員会	10	11
12	13 みんなで語る会 IN伊豆総合高校	14	15 議会運営委員会	16	17	18
19	20 議会運営委員会 本会議最終日 全員協議会 広報委員会					

※議会改革（議会改革特別推進委員会）



要チェック議案



- ・議案第77号・93号 令和4年度一般会計補正予算（第5・6回）
- ・議案第86号 廃棄物処理施設の供用開始に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正について
- ・議案第87号 工事請負契約の締結について（（仮称）伊豆市リサイクルセンター）

令和4年度一般会計補正予算（第5回）

※1万円以下は切り捨て

詳細

主な増額は、総務費、諸支出金、人件費、衛生費、商工費

職員給与費に係る人件費（人事院勧告等に伴う職員給与等の増）【2,183万円】

総務費：企画費 / 一般管理費 / 財産管理費【1億7,027万円】

（寄附額の増加に伴うふるさと納税促進事業費の増 他）

衛生費：塵芥処理費 / し尿処理費 / 保健衛生総務費【1,360万円】

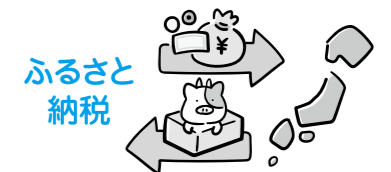
（新焼却施設への運搬増加に伴う一般廃棄物臨時集積運搬業務委託料の増 他）

商工費：観光施設管理費【1,350万円】

（価格高騰に伴う電気量の増）

諸支出金：基金費【1億4,501万円】

（寄附額増加に伴うふるさと伊豆市応援基金積立金の増）



令和4年度一般会計補正予算（第6回）

※1万円以下は切り捨て

詳細

衛生費：予防費【1,490万円】

（出産・子育て応援交付金事業）



議員の視点から(議案質疑)

令和4年度一般会計補正予算(第5回)

Q 歳入のふるさと伊豆市寄附金について、補正額約2億5千万円で計12億5千万円に増額した要因の分析は。

A 増額の要因は、旅館・ホテルの宿泊券が好調であり、その他返礼品の種類を増やし魅力度を上げることにより力を入れていることや、体験アクティビティーやゴルフ場利用券が増加していることも要因だと考えます。

工事請負契約書の締結

(仮称)伊豆市リサイクルセンター

Q 現施設の解体を行うとのことだが、残される施設はあるか。

A 今回の事業計画は、新ごみ処理施設の建設に伴い、稼働を停止した焼却処理施設の解体と、新たなリサイクルセンターとして、受け入れ施設や中間処理施設などを再整備するものです。既存の施設は、老朽化が進んでいるため、利用しやすい施設配置を目指し、既存施設をすべて解体のうえ、再整備する計画です。

賛成討論

◆浅田 藤二議員

包括的アウトソーシングに係る補正については、契約の段階から約40%の増額の補正がされています。増額補正については、事業全体像の説明がされていません。将来計画や進行計画を事前に説明すべきであり、今後の対応を強く要望します。

他に例のない先進的な取り組みや挑戦に完璧を求めると、委縮してしまいます。事業を一歩前に進め、持続可能な伊豆市のために、皆様の賛同をお願いします。

◆永岡 康司議員

包括的アウトソーシング補正は、当初予算で賛成した手前、やむを得ない処置として賛成します。業務契約で双方が理解したうえで契約で、安易に補正を計上するのはいかがでしょうか。これは市民の税金で賄うものです。この金額に対して内容を市民に説明して欲しいものです。

12/8・9 常任委員会 審査した主な質疑の内容や、定例会最終日に行われた討論

総務経済委員会

令和4年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)

質疑

Q 移住定住促進事業で移住に対する補助金の増額の報告があったが、これは市内の移動なのか、市外からの移住なのか、件数を知りたい。

A また、市外から伊豆市に移住した理由はなにか。

Q 補助金の増額は、15件分を想定しており、移住だけでなく市内の転居も対象としているため、市外への流出も妨げていると考えています。

A まち・ひと・しごと創生総合戦略の調査では、首都圏に近く、海も近い、富士山も見えるといった意見が多くありました。また、市で実施している転入者への調査では、転入理由として仕事上の都合が一番多く、二番目は自分の生まれ故郷、親家族や親戚、友人が近くにいること、三番目は自然環境



伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略検討会議の様子

が豊か、静かな住宅環境でした。

Q ふるさと納税を申し込むための専用サイトがあるが、旅館の皆さんが自分たちのサイトからふるさと納税につながるような仕組みが考えられないか。

A ふるさと納税をされる方は、「伊豆市」で選ぶというより、「返礼品」で選ばれる場合が多く、ふるさと納税の専用サイトから入っていたことが一番有効ではないかと考えます。各旅館のホームページに専用サイトへのリンクを貼っていただくやり方はできると思います。

賛成討論

◆間野 みどり議員

柏久保の旧ごみ処理場が、国の補助金を有意義に使用して、今までの施設をいかしながらも、新しく使いやすい(仮称)伊豆市リサイクルセンターに生まれ変わります。

自治体によっては燃やしてしまいがちな資源ゴミですが、使えるものはリサイクルをすることで、少しでも今後の温暖化などを阻止し、未来の子どもたちのためにより良い環境を残すことにつながることを願っています。

教育厚生委員会

令和4年度伊豆市一般会計補正予算(第5回)

質疑

Q 公立こども園などの電気料の増額補正があるが、価格高騰による私立のこども園等からの要請や支援はないのか。

A 私立こども園と認可外保育所の4園については、利用定員1人につき2千円の補助が県からあり、市も利用定員1人につき千円の補助を考えています。制度が正しいし支払い支給していく予定です。

◆廃棄物処理施設の供用開始に伴う関係条例の整理に関する条例の一部改正

質疑

Q 一般的に、広域で建設した焼却施設などは、料金体系を統一して運営すると聞かれますが、伊豆市と伊豆の国市の料金が異なることをどう捉えているか。



※現在のリサイクルセンター

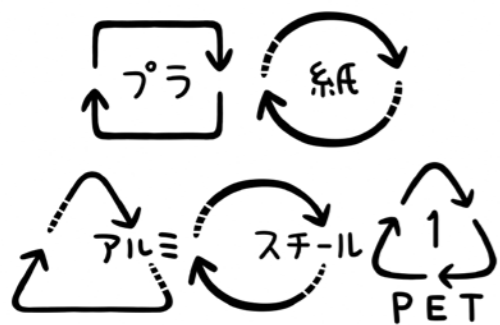
Q 市民にとって、資源ごみの持ち込み方法が変わるのか。

A 伊豆の国市の剪定枝は、資源循環センター(農土香)へ出すので、クリーンセンターには一切持ち込まないとのこと。伊豆市として価格設定をさせていただき、組合との調整を含め検討を進めてきました。

質疑

◆工事請負契約の締結について(仮称)伊豆市リサイクルセンター

A 解体や工事をしながら受け入れもします。仮設の受け入れ施設を造り、奥から壊し、新しいストックヤードができたなら、最終的には焼却施設を解体する計画です。今年度末から来年度初めに具体的にやると思います。



次のページは▼

一般質問

(続き)

質問 Question 新中学校の教育の内容を問う



浅田 藤二 議員

答 中学校を新設するからには、新しい波に乗った革新的な教育をおこなっていかないと新時代に対応した若者は育てられないのではないだろうか。そのためには地域に開かれた教育課程の編成のための学校と地域との連携の枠組み、システムを急ぎ設置されることを検討しませんか。

教育長 一斉一律授業から個別最適な学びへ、同一学年の集団から異年齢・異学年の集団での協働的な学びへ、そして、教室での学習だけでなく、外部機関を活用した多様な学習プログラムを取り入れることにより、新時代に対応した若者が育つのではないかと考えています。また、小学校で培った地域の学びを新中学校で融合し、伊豆市全体の学びに広げるためにも、各小学校で地域の方々と連携していくことが大切であり、さらに小学校と中学校のつながりを検討していただくとともに、機会を設けていきたいと思います。

※他の質問あり
動画はこちら



質問 Question 狩野川記念公園内、未整備箇所の改修工事を



星合 和馬 議員

答 昭和33年9月26日の狩野川台風で被害の最も激しかった熊坂に、狩野川台風災害復興記念公園が設置されました。エリアは記念塔、運動場、休憩場、駐車場、児童公園で成り立っています。しかし、老朽化などにより危険箇所がいくつか点在しています。改修工事の必要がありませんが如何ですか。

教育長 近年、遊具の老朽化による故障が、時期を置いて発生するようになり、令和3年度に更新工事を行い、新たな複合遊具を設置しました。令和4年度は小遊具の更新工事を承認いただいておりますが、危険箇所なども適切に把握したうえで計画を作成し、併せて対策を講じていきたいと思います。



質問 Question 高齢者の補聴器購入費助成を始めませんか



杉山 誠 議員

答 補聴器は加齢性の難聴に悩む高齢者の聞こえを補い、日常生活を支える役割を果たす道具ですが高額です。難聴をそのままにすると、会話や社会的交流が減り、うつや無気力、認知機能の低下につながるとされます。難聴による孤立化が進めば、交流も減少し地域社会にとっても大きな損失です。高齢者の補聴器購入費の助成を検討しませんか。

健康福祉部長 高齢者の補聴器の購入補助については、制度化している自治体は少ない状況ですが、「良い聞こえ」が認知症を積極的に予防するためには有効であると考えられます。今後は補聴器購入助成などを含めた、高齢者の難聴者に対する、支援の在り方を検討します。



市政を問う

～一般質問～

録画配信へ

パソコン

Android スマートフォン

iPhone アイフォン

伊豆市議会 ライブ中継

検索 からご覧ください。

QRコードを読み取るアプリをダウンロードしてご利用ください。

カメラアプリを起動して QR コードを画面に入れ、読み込みのコードが出たらタップしてご利用ください。

※各議員のQRコードを読み取ると、一般質問の様子を動画で見ることができます。

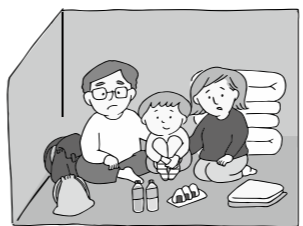
質問 Question 市民のための防災や避難所の見える化



間野 みどり 議員

答 今年度、しばらくぶりの防災訓練に近所の方々と一緒に参加し、改めて避難所の運営のあり方や計画、防災準備品の保管状況など、市民が知らない、わかりにくい部分が多い事に気がつきました。今後、絶対におこりうる災害に対して、今の伊豆市の現状や計画など、防災の見える化はどのようになっていますか。

危機管理監 今年度は避難所の円滑な開設・運営が行えるよう、研修会や避難所運営訓練を実施しました。いつ起きてもおかしくない大規模災害に備え、避難した誰もが避難所の開設・運営ができるよう、今後も継続的に研修会や訓練を開催し、更なる地域防災力の向上を図ります。



質問 Question 帰宅途中のこどもの熱中症対策



永岡 康司 議員

答 日傘は熱中症対策として、有効な手段の一つだと考えます。

教育長 日傘については、学校で特に決めごとを設けていません。場に応じたマスクの着脱や帽子の着用、水筒を持参して水分補給をすることなど、暑さ対策の正しい指導を行うことが大切ですので、日傘についても有効な手段だと子供たちに教えていきます。



質問 Question 危険空き家を放置したままで大丈夫ですか？



小長谷 順一 議員

危険空き家対策の進捗状況は進んでいない現状があると認識しています。危険空き家の放置で起こるトラブルは、差し迫った問題として直ちに顕在化します。特に土肥大敷地区などの住宅密集地では、今後の大規模災害を見据えると、非常に心配がありますので、国・県の制度活用以外に、伊豆市独自の施策を実施してください。

答 インセンティブとなるような施策を考えています。

建設部長 公共事業で活用が予定される空き家については、土地の寄付を条件に除却の補助金制度を設けています。危険空き家になる前の対策としては、「市の空き家バンク」への登録や「空き家リフォーム補助金」の交付をしています。住宅密集地は、災害時の消火活動や人命救助上の理由などからも課題があるため、危険な空き家の除却を促すためのインセンティブとなるような施策を考えています。

*インセンティブ：目標への意欲を高める刺激



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 移住定住施策推進のさらなる強化を



下山 祥二 議員

令和4年10月の静岡県内の推計人口で伊豆市は転入が転出を上回り8人増となり県内トップでした。この結果を踏まえ伊豆市の移住定住施策の推進をさらに強化すべきと考えます。現在の社会情勢を鑑み、当市の施策の現状とその成果を、どのように評価しているか。また医療体制の充実と教育の充実が、十分に整っているか伺います。

答 引き続き取り組みを加速してまいります。

総合政策部長 移住に対する主な施策として、若者定住促進補助金や結婚新生活支援事業、お試し住宅、空き家バンクの取り組みがあります。相談件数や移住件数は増加しており、一定の効果があったものと判断しています。

健康福祉部長 医療体制は不足している診療科目もあり、市内の医療機関だけでは足りていないと認識しています。今後医療体制が衰退することがないよう、先を見据えた検討を進めます。

教育長

伊豆市の魅力ある素材を使った教育は、本物を知り、ふるさとを知るといふ点で充実しているのではないかと考えています。今後も、探究心を育み、本物を知る教育の充実に努めて参りたいと考えています。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 市内小中学校の「心の相談」支援体制強化を



黒須 淳美 議員

現在、日向地区では新中学校建設工事が、2025年4月開校を目指し、コロナ禍の折ではありますが着々と進められているところです。

伊豆市で育つ子どもたちの教育環境の整備とともに、安心して学校生活を送れるよう、スクールカウンセラーや心の相談員などの活用、教職員との連携強化、さらに小学校への心の相談員配置などについて伺います。

答 心の相談員の小学校への配置の可否については研究を重ねていきたいと考えております。

教育部長

心の相談員やスクールカウンセラーの配置により子どもたちに安心感を与えるとともに、個別の相談に対応し、問題解決の糸口につながっていると認識しています。ただし、教職員との連携については、改善の必要があります。心の相談員の小学校設置については、子どもたちの状況を踏まえ、研究を重ねていきたいと思っております。



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 市長の定例会見での拒否権発言の真意は



鈴木 正人 議員

報道で市は「メガソーラー発電施設」に関して、市の「再エネ条例」に基づく申請を受理しました。今後の申請された書類等の審査が完了していない中、市長は定例会見において「関係法令、市の条例を確認しても市長としての拒否権はない。」と発言されました。「誤解」を生みかねないこの発言の真意を説明願います。

答 法令に抵触する部分がなければ不同意とすることはできません。

市長

本件を調整した際、いずれの担当職員からも「事業の枠組み、送電の距離等、非常に無理がある案件に思われる」という趣旨の意見でした。私も同様の考えですが、届け出は法定の書式が整ってれば受理せざるを得ず、法令に抵触する部分がなければ不同意とすることはできません。また、この届出を受理した後、すぐに事業に着手できるものではなく、関係諸法令などの許可申請条件を満たすことが必要と思われるため、発電事業者には、漏れないよう対応するよう指示していききたいと考えております。

*再エネ条例：「伊豆市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 中伊豆の将来像の共有化を図り協働しませんか



三田 忠男 議員

中伊豆地区のまちづくりの現状と課題について、進捗状況と今後の将来像を伺います。

(温泉病院跡地、橘保育園跡地、中学校跡地、萬城の滝周辺整備、太陽光発電、六仙の里公園整備、冷川地区、県道拡張整備など)

答 地域の皆さまと一緒にまちづくりを考えてまいります。

総合政策部長

旧さくら公園は、効果的な活用に向け引き続き検討を行っていきたくと考えています。萬城の滝周辺整備は、現在、展望デッキ設置に向け設計業務を行っているほか、見学者用の駐車場整備に向けて関係者と協議、設計業務を行っているところです。

産業部長 六仙の里公園は、今後も市民公園としての価値をさらに高めていきたいと考えています。



※萬城の滝



動画はこちら ※他の質問あり

質問 Question 修善寺ニュータウン地区の用途地域



波多野 靖明 議員

分譲地や別荘地として開発された土地は、道路や水道などの住環境が整っているため、現況が山林や原野でも宅地並みの固定資産税を課せられており、ニュータウン地区の土地所有者は高い税金を支払っています。現在は、第一種低層住宅専用地域として指定されていますが、区域区分の廃止に伴い、旧市街化調整区域であった区域の方が有利な条件で建築が可能であるように思われます。第一種低層住宅専用地域としておくメリットは何ですか。

答 従前と同じ用途地域は、良好な住環境の保全が図れます。

建設部長

第一種低層住宅専用地域のメリットとしては、住宅が密集したり中高層の建物が建つことがないため、日当たりが良いことや大規模施設や工場が建てられないため騒音が小さいこと、商業施設がないため交通量が少なく安全性が高いなど、低層住宅の良好な住環境の保全が図れることのほか、用途地域外と比較して都市基盤を整備しやすいことなどが挙げられます。



動画はこちら ※他の質問あり

次のページは▼

議会広報より報告・アンケート募集・編集後記

議会モニターのみなさん 1年間ありがとうございました!

議会モニター発足から1年が経ち、令和5年1月をもちまして任期が終了しました。多くの貴重なご意見やご協力、ありがとうございました。



※第1回モニター会議で撮影

議会モニターから寄せられた意見

意見

○議会運営に関して、モニターに意見を求めるのは限界があるため、議会運営も含めた市政全般をモニターしたほうが、幅広い意見が得られる。漠然と意見を求めるのではなく具体的に。

○議会だよりについて、画像や装飾の工夫、簡潔にまとめられた答弁など編集者の努力が見られ素晴らしい出来栄である。税金で作られるという位置づけを忘れず、費用削減に努力してほしい。

回答

○議会モニター会議でも、具体的な意見を求めてほしいとの声がありました。モニターの皆様が、意見を出しやすい方法に改善していきます。

○大変高い評価をいただき、議会広報委員会委員も励みとなります。費用削減については、原材料費高騰の中、削減は厳しいものの、発行部数の精査や穴あけの廃止を取り入れ、コスト削減を進めます。いかに読者を増やすかに重きを置き、見やすい紙面作成に向け今後も努力します。

議員勉強会で手話講座を行いました



教育厚生委員長 三田 忠男

思い起こせば、令和元年12月5日に当事者の想いを実現した、議員発議による「伊豆市民が共にあゆむ手話言語条例」を制定することができました。議員冥利に尽きる瞬間でした。

市民への手話の普及をお願いしていますが、議員が率先して手話に触れ、議会運営に取り入れていく環境づくりの第一歩として「本会議や委員会で発言する際の挨拶に手話を使えるようになる」ことを目標に手話講座を行いました。素晴らしい講師のもとで手話を学び、本定例会では、手話で挨拶する議員の姿が見られました。

質問 Question 未来に向けた市民サービス向上の取組を問う



すぎやま 杉山 武司 議員

自治体を取り巻く環境は過去とは大きく異なり、人口減少による人材不足や市税収入の減少は、自治体の本来果たすべき仕事を阻む要因でもあります。その対策の一例として、伊豆市では自治体DXを活用し、市民と身近な接点の窓口業務を改善しようとしています。市民から見た場合にどのような変化がもたらされますか。

答 あらゆる方にとって便利で受け入れやすいサービスの形になると考えられます。

総合政策部長 子育てや介護関係、被災者支援など特に利便性向上に資するとされた31の手續きについて、オンライン手續きができるよう今年度末を目指し準備を進めています。これにより、利用者に分かりやすく、不慣れな方でも容易に扱える操作性を有するとともに、誰もが迷わず簡単に利用できるようなサービスとなり、利便性の向上が図られます。



動画はこちら ※他の質問あり

「みんなで語る会」報告

市内4地区と、伊豆総合高校で行われた写真を掲載します。

議員から

グループワークにて多くの意見をいただきました。今後の議会運営の参考にさせていただきます。



議員から

生徒の皆さんと話せてとても貴重な時間となりました!

アンケートを実施します!

伊豆市議会だより 検索

アンケート回答フォーム



Webから回答
できます

ここから
アンケートへ



✓ 前月号アンケートにて、ご意見をいただきましたのでご紹介します。

- ・ほとんど毎号読んでいる
- ・普通 (★★☆☆☆ 50代 めい様)
- ・毎号欠かさず読んでいる
- ・表紙が変わりましたね (★★★★☆ 70代以上 男性)

新 広報委員会委員より

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございます。ご感想をお寄せいただき市民の皆様にお伝えできていることを実感し、とても励みとなっております。この度、広報委員会も改選し新たなメンバーでページの再編を行い、見やすい紙面を目指し検討中です。アンケートにつきましては、今後も議会だよりの紙面改善の参考にさせていただきます。1分程度で回答いただけますので、皆様の忌憚(きたん)のないご意見ご感想をお寄せくださるよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

12月

議会広報

11月25日の FMIS生放送で、飯田大議員が定例会のお知らせや報告を行いました。次回は2月末に3月定例会のお知らせをします。



3月定例会の予定

月	火	水	木	金	土	日
		2/22 本会議初日	23	24	25	26
27	28	3/1 本会議2日目 (議案質疑)	2 連合審査会 (総務経済委員会)	3 連合審査会 (教育厚生委員会)	4	5
6 総務経済委員会	7 教育厚生委員会	8	9	10	11	12
13 本会議3日目 (一般質問)	14 本会議4日目 (一般質問)	15 本会議5日目 (一般質問)	16	17	18	19
20	21	22	23 本会議最終日			

※日程は変更となる場合があります

議会傍聴・視聴 のご案内

本会議は感染症対策をしながら、どなたでも傍聴ができ、インターネットによる生中継と録画配信も行っています。

傍聴に関するお問合せ／

Tel. **0558-72-9906**
(議会事務局)

アクセスは
こちらから→



編集後記

寒中にも春の兆しを感じられる今日このごろです。昨年「伊豆市議会だより」の議会広報クリニックを受けました。表紙は市民が写る写真が親しみやすい。文字の大きさの工夫があるとよい。内容ではイメージできる視覚情報、委員会活動の見える化や子育て世代、若い世代の広聴企画などの提言をいただきました。市民アンケートからのご意見や感想を併せて、紙面内容の充実を図り、皆さまに身近に親しんでいただけるよう努めて参ります。議会広報委員長 飯田 大



次回は令和5年5月1日発行予定です。

◀ 議会ホームページ